

2019011

プロジェクト名 CONNECT

プロジェクトの概要

本団体は理工学部図書館の学生ボランティア団体である Library Associate と文理学部小説研究会から成り、図書館活性化を目的として活動を行ないました。

書籍の電子化や大学生の読書離れなどが進む中で図書館がどのように在るべきか問われる今、学生視点から図書館をより魅力的な空間にするための活動として、他大学図書館の見学や読書会の開催により魅力的なイベントや展示手法を研究し、さらに学生と図書館の連携強化を促進しました。

プロジェクトの結果・成果

・近畿大学図書館見学

近畿大学図書館職員の方にご案内頂き、館内の展示や学生ボランティア、アルバイトとの連携についてお話を伺いました。近畿大学図書館には従来の一般的な大学図書館のほかに、カフェや休憩所のある図書館総合施設、「アカデミックシアター」があり、こちらは図書館というよりも本屋のような雰囲気でした。特にアカデミックシアターでの展示内容は普段読書をしない人にも本を手にとってもらいやすいものになっており、大変勉強になりました。詳細は添付の資料をご覧ください。

・合同読書会

元々批評会（2、3個のテーマを中心に作品の考察を行い各々の解釈を共有する会）を開催していた小説研究会を中心に合同読書会を3回開催しました。読書会開催にあたっての進行の仕方や題材の選び方を学びました。

・Campus Cafe

日プロ参加団体である「ゲーミフィケーションを応用した化学教材による☆未来の化学者育成プロジェクト☆」と共同で図書館内で学生向けボードゲームイベントを開催しました。本イベントは2回開催し、各回15人ほどの学生が参加してくださりました。ゲームをきっかけに初対面の参加者同士のコミュニケーションをとることに成功しました。

以上3つの活動から本と人、人と人を繋げるノウハウを得ることができました。これらのノウハウを今後のボランティア活動で活かして参ります。

活動写真

